

# 兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 3号)

2021年11月 5日発行  
 兵庫のに研究所

県下全域で大型珪藻コシノディスカスが大量発生していましたが、ここにきて発生量はやや減少しています。窒素は大阪湾水の影響が見られる林崎漁場以東で $2.5 \mu\text{g at/L}$ 前後でした。魚住漁場以西では陸水等の影響により特異的に高い地点を除き、地先で概ね $3 \sim 4 \mu\text{g at/L}$ 、沖筋で概ね $1 \sim 2 \mu\text{g at/L}$ 、西播地先で $1 \mu\text{g at/L}$ 台の値でした。

(水温) 漁場内平均 $21.1^\circ\text{C}$ 。平年より $0.8^\circ\text{C}$ 、昨年より $1.1^\circ\text{C}$ ともに高い。  
 (塩分) 平均 $31.68\text{psu}$ 。前回(31.09)より約 $0.6\text{psu}$ 高い。  
 (珪藻) コシノディスカスは海水1Lあたり、魚住から別府の地先で $600 \sim 1200$ 細胞(前回値： $1200 \sim 1800$ 細胞)、沖筋で $250 \sim 500$ 細胞程度(前回値： $1000$ 細胞前後)、大阪湾水の影響が見られる明石海峡部から林崎漁場で $100 \sim 200$ 細胞(前回値： $500 \sim 1000$ 細胞)と減少していた。  
 西播の伊保・白浜漁場では、地先で $1600 \sim 1900$ 細胞(前回値： $2000$ 細胞)、沖筋で $500 \sim 600$ 細胞(前回値： $1000$ )とやや減少していた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	21.5	21.1	20.3	20.0
窒素	2.3	3.3	6.4	4.0
リン	0.31	0.43	0.66	0.56

(10/27)

(11/6)

※窒素の平均は別府を除く

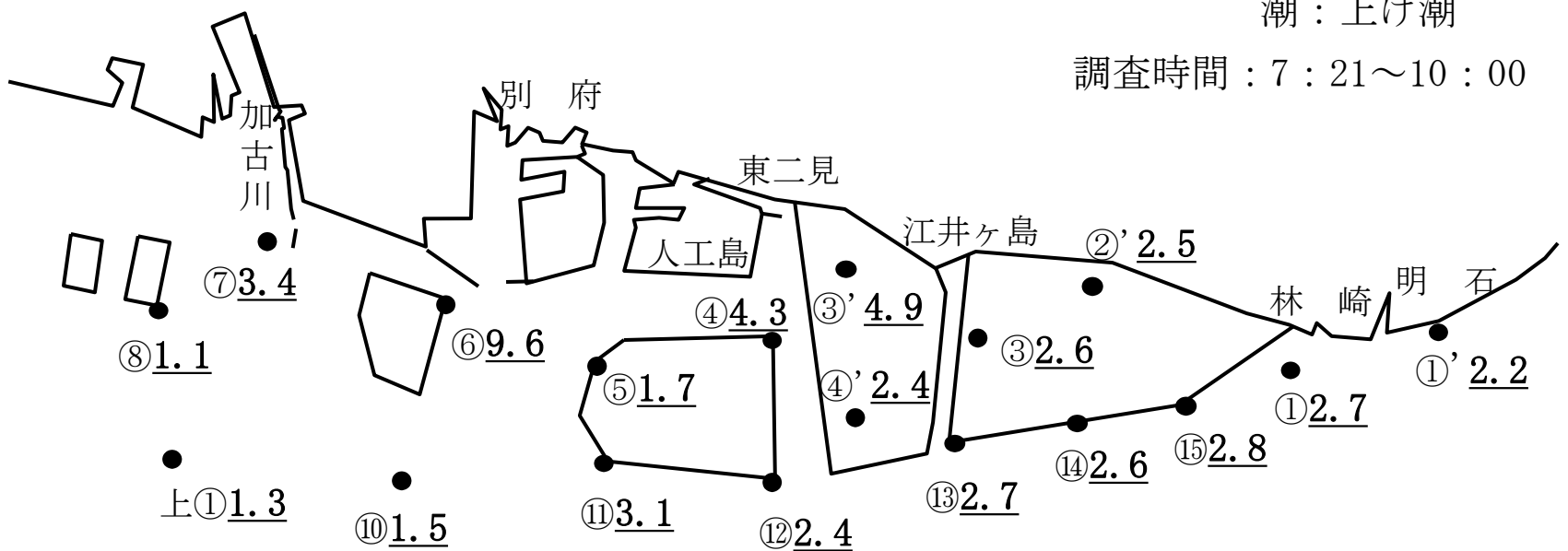
西播地先					
伊保 地	水温	$21.1^\circ\text{C}$	伊保 沖	水温	$21.3^\circ\text{C}$
	窒素	1.2		窒素	1.2
	リン	0.39		リン	0.37
白浜 地	水温	$21.1^\circ\text{C}$	白浜 沖	水温	$21.2^\circ\text{C}$
	窒素	1.3		窒素	1.3
	リン	0.44		リン	0.44

2021年11月 5日調査

## 栄養塩(窒素) 図

潮：上げ潮

調査時間：7:21~10:00



## 水温図

